



野菜づくりを通して交流

8月12日(土)、公益社団法人新大隅青年会議所主催による「野菜づくりでつながろう！ in 大崎」が開催されました。同法人は今年度、耕作放棄地を活用して自然由来の堆肥や酒粕などを使った野菜づくりに取り組んでおり、青少年育成の活動として高齢者や障がい者、外国人などさまざまな方との交流が計画されています。

当日は、社会福祉法人愛生会の利用者や未就学児、小学生約40名が参加し、4月8日に植えた紅はるかと安納芋を協力して掘りました。収穫した芋は、大崎町、志布志市、曾於市の小中学校に学校給食の食材として提供され、町内では10月13日に「金時リンゴ」として給食に出ました。また、7月19日には、志布志市の耕作放棄地を活用して育てたカボチャが学校給食の食材に提供され、町内では「カボチャサラダ」として給食に出ました。

同法人の吉留李奈理事長は「安心安全な野菜を届けられて嬉しいです。地域の子どもたちに元気に育ってほしいです」と話されました。



7/19 大崎小学校



10/13 中沖小学校



8/12 芋掘り



ビーチスポーツフェスタで 白熱！

10月22日(日)、町ビーチスポーツ専用競技場において「第19回くのにの松原ビーチスポーツフェスタ」が開催されました。

ビーチバレーの部には町内外から31チーム、初開催のビーチタグラグビーの部には9チームの参加があり、白熱した試合が展開されました。また、オープン競技のビーチRUNには80名が参加し、会場は大いに盛り上がりました。

恒例の「うなぎの振る舞い」を実施し、参加者はうなぎのかば焼きに大満足の様子でした。

